

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：植村

会議名：平成30年度 第1回 A諏訪屋敷プロジェクト・歴史散策専門部会会議

日時：平成30年10月30日(火)午後7時30分から午後9時まで

場所：玉津会館 会議室1

出席者：プロジェクトメンバー4名、館長、会館主事

使用資料：次第、歴史散策マップコピー、平成30年度歴史散策部会資料、まるごと冊子コピー、平成26年～30年度諏訪家屋敷まつりチラシ

議題

- (1)歴史散策マップの改訂について
- (2)次年度以降の活動について

会議要旨

内容

(1)歴史散策マップの改訂

・以前よりマップを見た際に違和感があった。宗教によって様々だが、真宗については寺を念仏の道場であり人々の門法のある場としてとらえている。マップで他の個所と並記されるような「歴史遺産」としてのものではない。

⇒マップ策定当時は、このマップを通じて「玉津にはこんな寺がある。」「こんな場所がある」ということを知ってほしい、地元の人でも知らないところがあるという思いがあったのでこのような形になっている。

・蓮如上人の足跡を巡る形でコースが設定されているが、寺以外にもゆかりのある場所はたくさんある。歴史の専門家等も入ってもらって改めて考えてみては。

・「遺跡、史跡」としてのまとめではなく、諏訪屋敷や「長刀まつり」の関連でまとめてみては。

・玉津をどうみせたいのか、どうとらえたいのかという視点がみえてこない。

・コースについては策定当時に、玉津の歴史的な場所を集めると蓮如さんに関連したものが多かったの、コース設定もそのようになっている。

・寺のなかでも、あまり観光で来てほしくないという声もある。

⇒12月に一心会の会合があるので、その中でマップへの掲載の可否を確認していただく。その結果で削除するものはし、代わりに自治会に玉津学区としてアピールしたい歴史的な場所を紹介していただき掲載する。

(2)次年度以降の活動について

①歴史散策部会の関わりについて

・管理運営が文体へ移行されたことで、諏訪家屋敷が遠のいた懸念がある。今後の活用について考えていく必要がある。

・文体側ももっと地元や団体に声をかけ、協力要請をしてもらいたい。そうすれば力を出せる。

・諏訪家屋敷は現在特に展示もなく、1度きたらおわり。リピーターになってもらうための取り組みが必要。歴史散策マップを元に玉津のことなど説明できたら。

・守山市のものになったので、一つ「守山市」としての内容で事業を考えていかないといけない。

⇒地元、玉津だけでなく、守山市全体を視野にいれていく。

・市のものになったから、ということではなく、地元のもが手伝って盛り上げていき顔がわかる関係を。

・目標が必要。文体が管理となったことで、諏訪家屋敷プロジェクトとしての目標がわかりにくくなったのは。⇒後日Aプロジェクト全体会がある。その中で再度目標については検討する。

・次年度以降の推進組織体制についてはまるごと全体で考えないといけない部分もあるし、プロジェクト単位でも考えていかないといけない。やはり興味がないと続かないので目標を定め、そのあと人の集め方については考えていく。

決まったこと等

- ・12月の一心会会議でマップ掲載の可否を検討いただく。
- ・次年度以降については次回Aプロジェクト全体会にて目標を定め、決める。

次回

平成30年11月5日(月) Aプロジェクト全体会議